



本科生
2012.6.25 まで

新幹線開業はこだて魅力創造ゼミナール

北海道新幹線開業に向け、開業にあわせて新幹線・名所・地域の魅力を市民が主体的に創造していくことを目指す。

受講生募集

申込要領は裏面（次項）をご覧ください。

■目的

「北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン」に基づく事業を推進する北海道新幹線新函館開業対策推進機構では、平成 27（2015）年度予定の北海道新幹線開業に向け、まちづくりの担い手を養成する講座を開講します。『「私たち市民が楽しんで暮らしている街」は必ず「観光客も楽しめる街」になる』という考えに基づき、まちづくりを「他力本願」や「ないものねだり」することなく、ゼミ生自らが担い手としてまちづくりに参画し、地域の魅力を創造していくことを目指します。

■ゼミ概要

平成 24 年度は主に講座形式で開催し、青森県内の名所づくりやまちづくりを実践・持続されている方々を講師に招き、あたらしい名所・名物づくり、魅力づくりに向けた知識や経験、人脈の形成を行います。また、受講者が持つアイデアを具体的にしていくためのワークショップ等を通し、修了式までに各自（または各グループ）が進めたい事業案を策定することを目指します。

こんな方々をお待ちしています

- 魅力創造やまちづくり活動に興味、関心のある方、地域活動、社会貢献活動に取り組んでいる方
- 製造、小売、飲食、宿泊、サービス業など観光に関わりのある企業に従事している方で、企業活動を通して函館の魅力を生み出したい、強めたいと考えている方
- 上記の方々に支援できる企業や地方公共団体の方

■主な講師

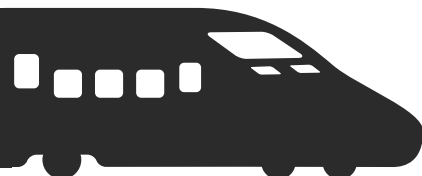
- 弘前感交劇場推進委員会事務局 櫻田宏氏（弘前市）
- (株)JR東日本青森商業開発代表取締役社長 本宮彰氏（青森市）
- 青森商工会議所 観光交流推進課長 鈴木匡 氏（青森市）
- 古牧温泉青森屋 前総支配人 佐藤大介氏（三沢市）
- 弘前路地裏探偵団 前団長 坂本崇氏（弘前市）
- (協)湊日曜朝市会 理事長 上村隆雄 氏（八戸市）
- 津軽地吹雪会 代表 観光カリスマ 角田周 氏（五所川原市）
- あおぞら組 組長 島康子 氏（大間町）
- 八戸せんべい汁研究所事務局長 木村聡 氏（八戸市）
- 青森市まちづくりあきんど隊 隊長 加藤博氏（青森市）

●主催・お問合せ・お申込み

北海道新幹線新函館開業対策推進機構事務局（函館商工会議所内）

〒040-0063 北海道函館市若松町 7-15 TEL0138-23-1181 FAX0138-23-1220

E-mail postmaster@shinkansen-hakodate.com http://www.shinkansen-hakodate.com/



■ 応募・申込要領…「本科生」と「聴講生」をそれぞれ募集します

| | | |
|---------|--|---|
| 講座会場 | 主として函館駅周辺地域のホテル・公共施設等を使用します（バリアフリー施設ではない場合があります） | |
| 募集区分 | 本 科 生 | 聴 講 生 |
| 講座内容 | (前半)講義60分+質疑、(後半)講師とゼミ生による演習50分 必要に応じて予備日に自主ゼミ・ワークショップなど開講予定 | (前半のみ)講義60分+質疑 |
| 参加資格 | ○函館市を拠点に仕事や生活をされ、自身の手で地域の魅力を創造したいと考えている方。函館市外の方の場合、函館でのゼミ活動へ通うことができる方 ○3年後の北海道新幹線開業時に向けて何らかの企画やプロジェクトを構想し、将来もその担い手や支援者として関わっていることができる方 ○パソコン用メールアドレス（添付ファイルの送受信環境）がある方 | 特になし |
| 受講料 | 無 料（ゼミ後の懇親会や10月開催の宿泊研修は実費となります） | 1名1回500円（会場費・資料代） |
| 定 員 | 30名 応募多数の場合は書類選考を行います | 会場定員に達し次第 |
| 申込方法・期間 | 申込書【本科生用・様式1】 に必要事項記入し、申込書記載宛先へ送付 受付期間：5月25日(金)～6月25日(月) | 申込書【聴講生用・様式2】 に必要事項記入し、受講希望講座4日前迄に申込書記載宛先へ送付 |

■ 講座内容 ※日時・演題は変更となる場合があります

| 回 | 予定日時 | 演 題 ・ 内 容 | 講 師 |
|----|---|---|---|
| 1 | 7月11日(水) 18:30～20:30 | オリエンテーション アクションプランと新幹線開業に向けた取組み内容、現状等について、ゼミ生自己紹介 | 当機構 幹事・事務局長（函館商工会議所地域振興課長）永澤大樹 |
| 2 | 7月26日(木) 18:30～20:30 | 『「あるもの活かし」と「やわらかネット」』 いまある地域資源を活かした観光まちづくりの重要性と、それを支えるプラットフォーム・ネットワークづくり、誕生したプロジェクトについて | 弘前感交劇場推進委員会事務局 ＜弘前市商工観光部観光物産課長＞ 櫻田宏 氏（弘前市） |
| 3 | 8月9日(木) 18:30～20:30 | 『青森らしさにとことんこだわる(1)～A-FACTORY（エーファクトリー）の取組み』 同施設と新青森駅「旬味館」運営事業者としての店づくりへの思いについて | (株)JR東日本青森商業開発 代表取締役社長 本宮彰 氏（青森市） |
| 4 | 8月22日(水) 18:30～20:30 | 『地元市場を観光のメッカに変身させた「のつけ井」ができるまで』 今や観光客が年間10万杯を食すのつけ井の仕掛け人が語る、地元向け市場が開業を機にどう変わったのか、青森における新幹線開業対策の取組みについて | 青森商工会議所 観光交流推進課長 鈴木匡 氏（青森市） |
| 5 | 9月6日(木) 18:30～20:30 | 『青森らしさにとことんこだわる(2)～古牧温泉青森屋の取組み』 経営破綻したホテルの再生に取り組んだ支配人がこだわった「青森らしさの演出」によって、スタッフとホテルはどう変わっていったのかについて | 古牧温泉青森屋 前総支配人、(株)星野リゾート・トナム 代表取締役総支配人 佐藤大介 氏（三沢市） |
| 6 | 9月21日(金) 18:30～20:30 | 『街歩きは知的エンターテインメント』 弘前路地裏探偵団をはじめとする、弘前におけるまちあるき観光の拡がりや、お洒落な演出による情報発信などについて | 弘前路地裏探偵団 前团长＜(社)弘前観光コンベンション協会 事務局長＞ 坂本崇 氏（弘前市） |
| 7 | 10月3日(水) 18:30～20:30 | 『毎週数万人の出入で賑わう八戸「館鼻岸壁朝市」運営ヒストリー』 何も無い埠頭を会場に平成16年からスタートし、今では日本有数の朝市といわれる規模に成長した同朝市の運営の歴史について | (協)湊日曜朝市会 理事長 上村隆雄 氏（八戸市） |
| 特 | 10月12日(金)夜～14日(日) | 宿泊研修（行程調整中）五所川原立佞武多の館～津軽の食と産業まつり～弘前路地裏探偵団～古牧温泉青森屋～館鼻岸壁朝市～八戸ポータルミュージアムはっち～新幹線～のつけ井～A-FACTORY&W・ラッセ | |
| 8 | 11月15日(木) 18:30～20:30 | 『雪国地吹雪体験の歩み～厄介者の地吹雪が観光資源になるまで～』 地元にとって厄介な自然現象でしかない地吹雪を観光資源に変えて25年の観光カリスマが見つめてきた観光まちづくりについて | 津軽地吹雪会 代表 観光カリスマ 角田周 氏（五所川原市） |
| 9 | 11月28日(水) 18:30～20:30 | 『本州の端っこで「よぐきだの～！」と叫ぶ～シモキタの魅力発信作戦～』 フェリー埠頭での大漁旗振り活動や、リゾート列車でのほっかむり行商隊、浜のかあさん達による観光ガイド活動など、下北半島ぐるみで取り組む活動と魅力発信の方法について | あおぞら組 組長 島康子 氏（大間町） |
| 10 | 1月24日(木) 18:30～20:30 | 『B級ご当地グルメで地域を売り込む～八戸発「B-1グランプリ」の発想と戦略～』 今や全国的ブームとなった「B級ご当地グルメ」を活用したまちおこし。「B-1グランプリ」を仕掛けた当人は、いかにして「八戸せんべい汁」を全国ブランドに育てたかについて | 八戸せんべい汁研究所 事務局長、八戸広域観光推進協議会 観光コーディネーター 木村聡 氏（八戸市） |
| 11 | 2月21日(木) 18:30～20:30 | 『中心商店街再生に必要なこと』 商店街活性化・まちづくりの先駆者として手掛けてきた様々な取組みと、再生のために必要なことについて | 青森市まちづくりあきんど隊 隊長(有)PMO 代表取締役 加藤博氏（青森市） |
| 12 | 3月22日(金) 18:30～20:30 | 平成24年度修了式 | |
| ※ | 10月以降予定 | 特別ゼミ 『身の丈の「名所づくり」×「まち育て」』 身の丈の名所づくりを提唱する著名都市プランナーと、身の丈のまち育てを提唱する北原氏がトークセッションしたとき生まれてくるものとは | 弘前大学教授 北原啓司 氏（弘前市） ほか |
| ※ | 他に自主ゼミ・ワークショップ開講等の予備日 …8月29日、9月26日、10月24日、10月27日、11月1日、11月21日、1月16日、2月6日、3月13日 | | |

新幹線開業はこだて魅力創造ゼミナール「はこゼミ」 【本科生用・様式1】受講申込書

◎ この申込書は、ゼミに通年参加を希望する本科生用です。申込要領記載内容を確認の上、お申込下さい

◎ 聴講生として申し込まれる方は【申込様式2】を使用して下さい

◎ この申込書は1名につき1枚提出して頂きますので、複数名で申し込む場合はコピーして下さい

[申込方法] 郵送・FAX・Eメールいずれかで下記宛先へ送付して下さい。6月25日(月)必着です

[申込先] 〒040-0063 函館市若松町7-15 北海道新幹線新函館開業対策推進機構 はこゼミ係

(TEL)0138-23-1181 内線44 (FAX)0138-23-1220 (e-mail) postmaster@shinkansen-hakodate.com

■必須記入欄(1)～(7)

| | | | |
|------------------------------|---|-------|-------------|
| (2)フリガナ | | | (3)性別 |
| (1)氏名 | | | 男・女 |
| (4)生年月日 | 昭和・平成 | 年 月 日 | |
| (5)連絡先 | 郵便番号 | | 以下は ○印記入 |
| | 住所 | | 自宅・勤務先 |
| | 電話 | | 自宅・勤務先 |
| | Eメール(※1) | | 自宅・勤務先 |
| | 携帯電話(※2) | | |
| | ※1 パソコン用など、添付ファイルの送受信が出来るメールアドレスを記入願います ※2 携帯番号は緊急対応が必要な場合に限り使用させていただきます | | |
| (6)受講動機 | | | |
| (7)新幹線開業に向けた魅力創造アイデアや構想、問題意識 | | | |

■任意記入欄(8)～(9)

| | 勤務期間 | 勤務先名 | 役職名や職務内容等 |
|---------------------------------|----------|------|-----------|
| (8)職歴 (働いている方は極力記入して下さい) | 年から 現在まで | | |
| | 年から 年まで | | |
| | 年から 年まで | | |

| | 活動期間 | 組織・団体名 | 活動内容 |
|-----------|--------|--------|------|
| (9)社会活動履歴 | 年から まで | | |
| | 年から まで | | |
| | 年から まで | | |

※本申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、ゼミ運営以外の目的では一切使用しません。

新幹線開業はこだて魅力創造ゼミナール「はこゼミ」 【聴講生用・様式2】受講申込書

◎ この申込書は、各講座を選択申込する聴講生用です。受講料1名1回500円は当日申し受けます

◎ 本科生として申し込まれる方は【申込様式1】を使用して下さい

◎ 本申込書1枚で2講座分申込むことができます。足りない場合はコピーして下さい

◎ 各講座とも会場定員に達し次第締め切らせていただきます

[申込方法] 郵送・FAX・Eメールいずれかで下記宛先へ送付して下さい。各講座とも4日前が締切です
[申 込 先] 〒040-0063 函館市若松町7-15 北海道新幹線新函館開業対策推進機構 はこゼミ係
(TEL)0138-23-1181内線44 (FAX)0138-23-1220 (e-mail)postmaster@shinkansen-hakodate.com

■記入欄1

| | | | | |
|--|---------------|------------------------|---------|--|
| 聴講希望 講座1 | 開講予定日(申込要領参照) | | 講 師 名 | |
| | | | | |
| ▼聴講者所属企業・団体を記入して下さい | | | | |
| 所属企業名・ 団体名 | | | | |
| 本申込書記入 とりまとめ者 氏名 | | 講義変更の際 などの連絡先 | 電話 | |
| | | | e-mail | |
| ▼聴講者情報を下欄に記入して下さい。とりまとめ者が聴講される場合も再度下欄に記入願います | | | | |
| | 氏 名 | 部署名 (又は傘下企業名・会員企業名) | 電話または内線 | |
| 聴講者1 | | | | |
| 聴講者2 | | | | |
| 聴講者3 | | | | |
| 聴講者4 | | | | |
| 聴講者5 | | | | |

■記入欄2

| | | | | |
|--|---------------|------------------------|---------|--|
| 聴講希望 講座2 | 開講予定日(申込要領参照) | | 講 師 名 | |
| | | | | |
| ▼聴講者所属企業・団体を記入して下さい | | | | |
| 所属企業名・ 団体名 | | | | |
| 本申込書記入 とりまとめ者 氏名 | | 講義変更の際 などの連絡先 | 電話 | |
| | | | e-mail | |
| ▼聴講者情報を下欄に記入して下さい。とりまとめ者が聴講される場合も再度下欄に記入願います | | | | |
| | 氏 名 | 部署名 (又は傘下企業名・会員企業名) | 電話または内線 | |
| 聴講者1 | | | | |
| 聴講者2 | | | | |
| 聴講者3 | | | | |
| 聴講者4 | | | | |
| 聴講者5 | | | | |

※本申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、ゼミ運営以外の目的では一切使用しません。